

■倉敷平成病院 回復期リハビリテーション病棟

開設：平成13(2005)年5月1日

病床数：91床（4西：47床 4東：44床）

施設基準：回復期リハビリテーション病棟入院料1

脳血管疾患等リハビリテーション料1

運動器リハビリテーション料1



脳血管リハビリテーション

脳梗塞や脳出血後の後遺症の軽減と回復のためのリハビリテーションです。



運動器リハビリテーション

骨・関節・脊椎疾患患者や外傷手術後の機能改善と回復を目的としたリハビリテーションです。

■倉敷平成病院 回復期リハビリテーション病棟の実績

期間：2024年1月～6月

●平均在院日数

入院患者さん一人あたりの平均入院期間



62.4日

※全国平均：65.7日

●在宅復帰率

入院患者さんのうち在宅に復帰された割合



78.3%

※全国平均：78.3%

●リハビリ提供実績

入院患者さん一人あたりに1日に関わる時間。1単位=20分

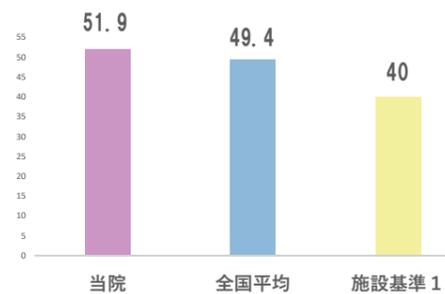


6.3単位/日
(138分/日)

※全国平均：6.3単位/日

●実績指数

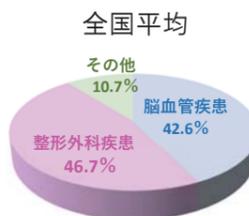
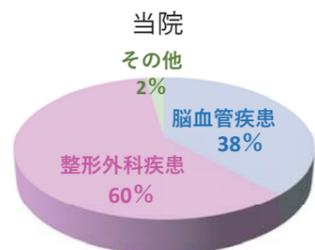
リハビリの効果を示す値(※実績指数が高いほどリハビリの効果が高く入院期間も短い)



※回復期リハビリ病棟入院料1の施設基準は40以上

当院は全国平均と比較し、入院期間が短くリハビリの効果が高い

●疾患別入院内訳



全国平均は2023年の調査結果

■入院から退院の流れ

入院(当日)

医師の診察後、リハビリスタッフによる評価を行い、状態に合ったリハビリ計画を作成します。また、看護師によるケアを開始します。

リハビリテーション開始(365日)

初回カンファレンス

多職種で話し合い、患者さん個人に合ったリハビリ計画書を作成し、情報共有しながらリハビリテーションを行います。

リハビリ回診

中間カンファレンス

定期的に多職種で治療経過や方針、入院期間などを確認します。

病状説明(インフォームド Consent)

主治医からの患者さんの現状、見通し等を説明し、今後の方針について確認します。

退院準備

退院前訪問指導や、ご家族に対して介助方法伝達など必要に応じて実施します。

最終カンファレンス

退院後のサービスを利用される場合、そのスタッフと情報交換を行います。

退院

●お問い合わせ

社会医療法人全仁会 倉敷平成病院

住所：倉敷市老松町4-3-38

TEL：086-427-1111

倉敷平成病院 回復期リハビリテーション病棟



365日
リハビリ

救急から在宅まで

何時いかなる時でも対応します



<回復期リハビリテーション病棟 理念>

患者さんの「納得ゆく人生」の実現をめざします

●基本方針

- 臨床・教育・研究の分野で患者本位の全国的水準の回復期リハビリテーション病棟を目指します。
- 急性期・生活期と連携しながら、心身機能の回復だけではなく、患者さん一人ひとりが納得ゆく生き方ができるように支援します。
- 患者さんに寄り添い、安全で安心な生活を送れる病棟づくりに努めます。
- 患者さんのニーズを第一に、最短でよくなる個別性の高い目標を設定し、全人的に対応し、科学的根拠のあるリハビリテーションを追求します。
- 職員は日々研鑽に努め、多職種の専門性を発揮しチーム医療による患者本位の最善のリハビリテーションを追求します。
- わかりやすいやさしい医療サービスを提供し、地域から求められる回復期リハビリテーション病棟を目指します。



■多職種によるチーム医療で 一日も早い機能回復をサポート

<p>理学療法士</p> <p>運動機能の回復や日常生活動作の改善を図ります。福祉用具の適用相談、住宅改修相談も行います。</p>	<p>作業療法士</p> <p>日常生活が送れるよう、家事作業や車の運転など職場復帰に必要な訓練・趣味活動も支援します。</p>	<p>言語聴覚士</p> <p>「話す」「食べる」「考える」のリハビリを行っています。必要に応じて嚥下造影検査も行います。</p>	<p>公認心理師</p> <p>安心した入院生活を送れるよう、話の傾聴（カウンセリング）を行ったり、気分転換につながる活動を提供しています。</p>
<p>医師</p> <p>入院中の医療的な管理を行い、チーム医療の要として患者さんをサポートします。</p>	<p>看護師</p> <p>患者さんの療養上のサポートや精神面のケア、医師の診療の補助など幅広い役割を担っています。</p>	<p>介護福祉士</p> <p>生活環境の整理整頓や食事、排泄、入浴の援助を行い、入院生活のサポートします。</p>	<p>歯科医師 歯科衛生士</p> <p>ご希望のある方に対し、口腔ケア・歯科治療を行います。</p>
<p>医療ソーシャルワーカー</p> <p>疾病や受傷に伴う様々な不安や問題を多職種と連携しながら解決できるようにサポートします。</p>	<p>管理栄養士</p> <p>患者さんの体重・活動量の変化、栄養状態を評価し、一人ひとりに合わせた食事を提供。食事相談も承っています。</p>	<p>薬剤師</p> <p>入院時に持参された薬の確認、薬の投与量や副作用、薬物療法全般をサポートします。</p>	

障害の軽重を問わず、患者さんにとって最適なケアや運動、そして生活全般の援助を行うためスタッフ一同誠心誠意励んでいきます。

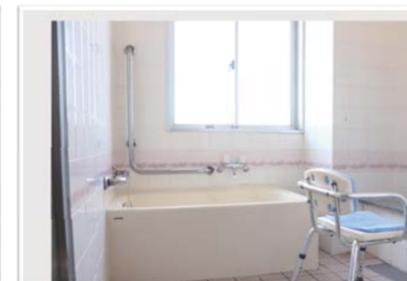
■入院生活一日の流れ(例) 病棟での生活すべてが在宅復帰・社会復帰のための準備です。



居室



お風呂



食事



入院生活自体がリハビリテーションです。
患者さんが自分らしい生活を取り戻せるよう 365 日リハビリテーションを実施します。

例えば・・・口から食べていただく取り組みを推進
洗面は洗面所で朝夕、口腔ケアは毎食後の実施を支援
清潔ケアは週 2 回以上

■特色

①リハビリ回診



リハビリ科専門医による回診を行い、装具作成や嚥下機能評価、リハビリの方針などについて患者さんを含め多職種で検討しています。

②病棟レクリエーション



認知機能の維持と日中の生活リズムの改善を目的に、レクリエーション・創作・回想法・モンテッソーリケアを取り入れています。

③園芸活動



入院生活の楽しみや役割の獲得のため、プランターを用いて季節の野菜を育てています。苗を植えて、水やりから収穫まで行っています。

④日常生活動作訓練



生活する上で必要な動作を日常生活動作といえます。食事やトイレ動作、調理や買い物などの訓練や環境調整、自助具の提案など行います。

⑤機器を使ったリハビリ

コンピュータ技術とロボット工学を応用した機器を導入し、より質の高いリハビリテーションを提供しています。



<ReoGo-J>

<HAL®>

<動作解析機器>

⑥電気刺激

動かしにくくなった筋肉や神経に電気を流すことで、様々な症状に対して治療を行います。



<エスパージ>

<IVES®>

<ウォークエイド®>